

令和3年度

がん医科歯科連携研修会

(岡山県委託事業)

- テーマ 「患者の口腔管理を考える～周術期口腔機能管理の重要性について～」
- 日時 令和4年 3月13日(日) 10:00～13:30
- 会場 岡山県歯科医師会館 2階もも丸ホール及びZoomによるWeb配信

日程

10:00	開 会		
	挨拶	岡山県歯科医師会 会長	西岡宏樹
		岡山県保健福祉部健康推進課	國富優香 課長
		岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野	佐々木 朗 教授
10:10	講演 I		
	「周術期口腔機能管理の重要性について」		
		岡山大学病院医療支援歯科治療部 部長	曾我賢彦 先生
11:40		(休憩)	
11:50	講演 II		
	「周術期口腔ケアの実際」		
		岡山大学病院医療技術部 歯科衛生士室 主任	高馬由季子 先生
12:50		(休憩)	
12:55	講演 III		
	「周術期等口腔機能管理の保険算定について」		
		岡山県歯科医師会 社会保険部	井上修輔 先生
13:15	質疑応答		
13:25	閉 会	岡山県歯科医師会 副会長	小見山 信

■ 当日は以下のものをご持参下さい

- ・プログラム
- ・日歯生涯研修事業ICカード

主催 岡山県・岡山県歯科医師会 共催 岡山県がん診療連携協議会



周術期口腔機能管理の重要性について

岡山大学病院医療支援歯科治療部 部長 そがよしひこ 曾我賢彦

【抄録】

2012年に、がん等に係る全身麻酔による手術又は放射線治療若しくは化学療法を受ける患者の口腔機能の評価及び一連の管理が、「周術期口腔機能管理」という名称で歯科領域において保険収載されました。しかし、医療一般において周術期に放射線療法や化学療法は含まれません。（後に保険診療における「周術期口腔機能管理」は「周術期等口腔機能管理」と名称が変更されています。）今回頂いた講演の機会では、真の「周術期」すなわち手術前後を対象としてお話をさせていただこうと思います。快適で安全、安心な手術前・手術中・手術後の環境を効率的に提供するために、麻酔科医師、外科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士などで構成されたチーム医療で、手術が決まった外来時点から手術に向けた心身の準備をサポートし、術後の早期回復を目指した疼痛管理やリハビリテーション、栄養指導や歯科治療・口腔内の管理などを行うことが推進されています。がん周術期医療の質を高めるため歯科の専門性が果たし得る役割とその重要性を概説させていただきます。2016年に改正され成立したがん対策基本法の基本理念には、新たに「がんになっても自分らしく尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会の構築」が追加されています。がん周術期医療で地域の歯科医療機関が果たせる役割は大きく、がんになっても安心して暮らせる地域共生社会の構築にあたって、皆様のお力添えをさらに頂ける機会になれば幸いです。

【略歴】

- 1998年 岡山大学歯学部卒業
 - 2002年 岡山大学大学院歯学研究科 修了 博士（歯学）
 - 2002年 岡山大学歯学部附属病院 医員（第二保存科）
 - 2003年 国立療養所おくこうみょうえん邑久光明園 厚生労働技官 歯科医師
 - 2007年 国立療養所邑久光明園 厚生労働技官 歯科医長
 - 2008年 岡山大学医学部・歯学部附属病院（現 岡山大学病院） 歯周科 助教
 - 2008年 岡山大学医学部・歯学部附属病院（現 岡山大学病院）
周術期管理センター歯科部門 部門長 兼任（～2010年）
 - 2010年 日本学術振興会特定国派遣研究者（オランダ）
（ライデン大学メディカルセンター, Academic Centre for Dentistry in Amsterdam）
 - 2011年 岡山大学病院 中央診療施設 医療支援歯科治療部 副部長・助教
 - 2013年 岡山大学病院 中央診療施設 医療支援歯科治療部 副部長・准教授
 - 2017年 岡山大学病院 中央診療施設 医療支援歯科治療部 部長・准教授
- 現在に至る



周術期口腔ケアの実際

岡山大学病院医療技術部 歯科衛生士室 主任 高馬 由季子 たかうま ゆきこ

【抄録】

岡山大学病院では、手術を受ける患者さんに快適で安全な周術期医療体制を効率的に提供するため、2008年から全国に先駆けて周術期管理センターを組織しました。発足当時から、歯科部門として歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が参入し、術前・術中・術後と患者さんへ安心・安全な環境を効率的に提供できるよう活動しています。

2011年から実施された「岡山県チーム医療推進のための人材育成システムの確立事業」への取り組みにおいて、職種ごとに専門的な知識や技能に重点を置いた院内認定システムが開始されました。当院の歯科衛生士15名全員が複数のチーム医療において多方面から周術期の口腔衛生管理にも携わっており、その内10名の歯科衛生士が「周術期チーム医療認定歯科衛生士」として、周術期の口腔衛生管理（術前プラークフリー）や口腔機能管理（摂食嚥下機能訓練）を行っています。

さらに、医科歯科連携を強化しチーム医療を促進するために設立された「医療支援歯科治療部」では現在3名の歯科衛生士が所属し、周術期管理センターからの患者さんのみならず、化学療法や放射線治療中の患者さん、臓器移植患者さんへの歯科介入において口腔衛生管理を担っています。

今回は当院歯科衛生士が行っている周術期口腔衛生管理についてお話をさせていただき、今後は更に地域の歯科医院との連携が密となるよう取り組んでいきたいと考えております。

【略歴】

- 2000年 岡山県山陽歯科衛生士専門学校 卒業
- 2000年 岡山大学医学部・歯学部附属病院 看護部（現 岡山大学病院）
- 2004年 岡山大学病院 医療技術部 歯科衛生士室

取得認定

- 2010年 日本歯科衛生士会 摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士
- 2013年 日本障害者歯科学会 認定歯科衛生士
- 2015年 日本臨床栄養代謝学会 NST 専門療法士

【 MEMO 】